

授業概要

分 野		学 科 目		2年前期		90分講義 15 回
専門分野Ⅱ		小児看護学方法論Ⅰ		30 時間	1 単位	
授業科目				講師名		
小児の保育、主な症状の看護と小児特有の看護技術				専任教員(実務経験者)		
科目目標	1.小児が健康な生活を送るための保育の方法を理解する。 2.健康を障害された小児に必要な環境や看護の役割を理解する。 3.小児に特有の症状の看護や小児看護特有の技術を理解する。					
	回数	項 目	内 容			
科目内容	1	小児の成長・発達段階に応じた日常生活援助	1.小児の発達段階に応じた援助 1) 新生児 2) 乳児 3) 幼児 4) 学童 5) 思春期			
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7	主な症状の看護	2.主な症状のアセスメントと看護 1) 発熱のアセスメントと看護 2) 脱水のアセスメントと看護 3) 呼吸困難のアセスメントと看護 4) 痙攣のアセスメントと看護			
	8					
	9					
	10	健康問題/障害のある小児に必要な看護技術	1.コミュニケーション技術 2.インフォームドコンセント(アセント)のための技術 1) プレパレーション 3.フィジカルアセスメント 1) アセスメントの方法と注意点 2) バイタルサイン測定 3) 身体計測 4.治療に伴う小児看護技術 1) 点滴刺入における固定技術、輸液管理 2) 検体採取(血液検査、尿検査、便検査) 3) 腰椎穿刺時の固定技術			
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
【授業形態】 講義、グループワーク、演習						
【評価方法】 筆記試験、出席状況、授業態度、レポート						
【テキスト】 小児看護学① 小児看護学② メディカルフレンド社 ナーシンググラフィカ 小児看護技術 メディカ出版						